

## 『ばめんの にほんご』活動の手引き

### ◇テキストについて

このテキストは、堺市の地域日本語教室で学ぶ、日本語能力が入門レベルの学習者向けに作成した会話教材です。

日本語がまだ十分でない外国人にとって、日常生活の様々な場面で日本語でやりとりすることは難しく、このようなやり取りは自分にはハードルが高いと思っている学習者もいるでしょう。このテキストは、実際に使える簡単な会話表現を学ぶことで、そのような学習者が社会へ踏み出す第一歩になることをめざして作成しました。そのため、会話に登場する日本人の発話はやさしく話された日本語ではなく、実際に学習者が日常生活で耳にする日本語に近い言い方になっています。相手の言っていることがあまり分からなくても、ひるまずに自分の言いたいことが伝えられるようになることを意図しています。

テキストには、すべてローマ字が載せてあります。ひらがな・カタカナが習得できていない学習者にはローマ字を手掛かりに活動を進め、徐々にひらがな・カタカナが覚えられるように支援してください。

6つの場面会話があり、1つの活動時間の目安は30分から40分です。

【取り上げられている会話場面と目標】

会話タイトル	場面と会話の相手 (どこで誰と)	目標
今日は休みます	電話で日本語教室の担当者と	・電話の相手を呼び出してもらうことができる ・理由を言って、欠席の連絡ができる
京都までいくらですか	駅で駅員と	・行き先までの値段や乗り場が聞ける ・乗る電車を確かめることができる
これをください	デパートで店員と	・売り場の場所が尋ねられる ・サイズや色の希望が言える ・店員のセールストークをうまく遮ることができる
ここに行きたいんですが	道で通行人と	・路上で行き先を伝え、道を尋ねることができる ・確認しながら相手の説明が聞ける
かばんを忘れたんですが	駅で駅員と	・忘れ物を届け出ることができる ・物の特徴を簡単に説明することができる
どうしましたか	病院で受付の人と/ 医者	・受付で初診の手続きができる ・症状を簡単に説明できる

## ◇活動の進め方

※活動のまえに、学習者がどんな場面の会話かイメージできるよう、その場面のイラストや写真、小道具などを準備しておきましょう。

1)まず、ボランティアがテキストの会話を演じて見せます。セリフを棒読みするのではなく、会話の意味(何が話されているか)が伝わるよう、動作もつけて、臨場感のある演技をすると楽しいでしょう。

ボランティアが何人かで‘役’を演じる時は、それぞれが何の役かを初めに学習者に言うておきます。

ボランティアが役を分担して演じるのが望ましいですが、やむなくボランティア一人で行うときは、登場人物の顔のイラストを準備したり、声色を変えるなどして、だれが話しているか分かるよう工夫してください。

2)次に、会話の外国人の登場人物のセリフをリピートしてもらいます。‘日本人役’のセリフを練習する必要はありません。外国人の登場人物のセリフがすらすら言えるようになるまで何度も練習しましょう。

3)ボランティアと学習者で、できるだけ自然な会話のやりとりができるよう役割練習をします。

テキストを見ないで、動作をつけながら実際のコミュニケーションに近い練習をしてください。

大切な表現は太字で示してあります。太字の表現は間違いなく言えるようにしましょう。太字以外のところは一字一句テキストのとおりになんと言えなくてもかまいません。役になりきって楽しく会話してください。

※日本人役のセリフには難しい表現も使われていますが、ひとつひとつ説明する必要はありません。特に文法的な説明はなるべく避けましょう。会話の流れの中で理解してもらおうようにします。

## ◇各会話の準備物と留意点

※準備物はできる範囲でいろいろ工夫してください。

### 「今日は休みます」

準備物

- ・電話(ケータイ、スマホなど)

留意点

- ・電話での会話なので役割練習の時はお互い顔を見ないで練習しましょう。

### 「京都までいくらですか」

準備物

- ・券売機と運賃表の写真(イラスト)、電車が止まっているプラットフォームの写真(イラスト)、駅員を示す帽子など

留意点

- ・最初の場面は券売機の前です。日本人は運賃表を見ながら答えています。次の場面は改札口です。最後は駅のプラットフォームです。会話を演じるときは場面の移動が分かるようにしましょう。

### 「これをください」

準備物

- ・数足の靴(男性用・女性用があるとよい。実物が用意できなければ写真やイラストを用意)
- ・靴のサイズ表(日本のサイズ表示と学習者の国のサイズ表示が載っているもの)

留意点

- ・「見ているだけです」は会話を演じるとき、店員がついて回る→客が「見ているだけ」と言う→店員が引き下がるというパフォーマンスで意味を伝えましょう。
- ・役割練習の時は学習者に自分の靴のサイズを「センチ」で言ってもらいましょう。

### 「ここに行きたいんですが」

準備物

- ・簡単な地図が載っているレストランのチラシ

留意点

- ・「ここに行きたいんですが…」の「～たいんですが」が言いにくいようであれば、「行きたいです」でもかまいません。
- ・演じる時は、建物(または建物の絵)を指でさしたり、方向をジェスチャーで示したりしながら行き方を伝えてあげるといいでしょう。

## 「かばんを忘れたんですが」

### 準備物

- ・特徴のわかりやすいかばん(色がわかりやすい、絵で説明しやすいなど)

### 留意点

- ・「忘れたんですが」が難しければ「忘れました」でもかまいません。
- ・前半は心配そうな表情で、後半はよかったという気持ちが伝わるような表情と声のトーンで言うよう学習者に促しましょう。

## 「どうしましたか」

### 準備物

- ・健康保険証、問診票、医者を示す小物(手作り聴診器、白衣など)

### 留意点

- ・前半の場面は病院の受付、後半は診察室です。
- ・役割練習では、症状をジェスチャーでも伝えるように学習者に促すといいでしょう。
- ・よくできる学習者であれば、テキスト以外の症状を表す表現をいくつか示して練習するのもいいでしょう。

## ◇ローマ字表記のルール

- 1) 50音の表記は『ことば』の「文字」(p.70)を参照ください。
- 2) 長音の表記は、母音二つを並べて表記しています。

例) じどうしゃ → jidoosha  
がくせい → gakuee  
コーヒー → koohii  
サッカー → sakuaa  
スーパー → suupaa